

自己点検・自己評価報告

(平成30年12月25日実施)

GAG 日本語学院

理事長 橋野 信生

【評価基準】

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成されていないので、今後、達成に向けて努力をしていく

D：今のところ必要はないが、今後必要があれば対応をしていく

1. 理念・教育目標	評 価
1.1 〈理念〉 学生たちが、日本と母国の文化・習慣・考え方などの違いを学び、また、日本の大学・専門学校などで得た知識を活かすことによって、広い視野を持ったグローバルに活躍できる人材を育て、諸外国との親密化・活性化に貢献する。	—
1.2 〈教育目標〉 1. 向上心のある学生を募り、大学、専門学校への進学率 100%を目指す。 2. 進学のための日本語教育に留まらず、日本での生活・就職などに役立つバランスの良い実用的な日本語を教育する。 3. 日本での留学生活を通じて、文化・習慣・考え方等の違いを理解させ、広い視野で客観的に物事を見る習慣をつける。	—
1.3 〈育成する人材像〉 日本で質の高い教育を受け、高度な技術を学ぶことで、母国の発展を支え、また国際社会で活躍できる人材を育成する。	—
1.4 理念、教育目標が社会の要請に合致していることを確認している。	A
1.5 理念、教育目標及び育成する人材像が、教職員及び学生に周知されている。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

定期的を実施している教職員の参加する全体会議で、内容を伝達し共有している。

2. 学校運営	評 価
2.1 設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合している。	A
2.2 校長、主任教員及び教員は、「日本語教育の運営に関する基準」で定める要件を備えている。	A
2.3 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	A
2.4 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	A
2.5 意志決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	A
2.6 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	A
2.7 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	A
2.8 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	A
2.9 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	A
2.10 業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

週に1回、事務局及び教務でそれぞれ会議を実施し、業務の見直し及び効率化を図るため、現状の問題点や課題について検討している。

3. 教育活動の計画	評価
3.1 理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	A
3.2 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	A
3.3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている	A
3.4 教育目標に合致した教材を選定している。	A
3.5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	A
3.6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	A
3.7 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

採用時の研修および全体会議、学期ごとの教師ミーティングにおいて、理念と教育目標については常に全体で共有している。クラスごとの進捗を担当が把握し、クラスの目標に適した教材と教育方法を実施している。

4. 教育活動の実施	評価
4.1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A
4.2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	A
4.3 開示されたシラバスによって授業を行っている。	A
4.4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	A
4.5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	A
4.6 学生の自己評価を把握している。	B
4.7 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。	A
4.8 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている	B

<現状・具体的な取り組み／課題>

入学時にレベルチェックテストを実施し、学習レベルごとにクラスを編成している。その後は6か月ごとに期末試験を行い、学生の学習到達度を測って、学生1人1人に対してフィードバックをしている。ただ、自己評価表を作成し、定期面談をするまでには至っていないので、今後の取り組みとして実施するように努める。

5. 成績判定と授業評価	評価
5.1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	A

5.2	成績判定結果を的確に学生に伝えている。	A
5.3	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	B
5.4	学校より教師に対しての授業評価を定期的に実施している。	A
5.5	評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。	A
5.6	学生による授業評価を定期的に実施している。	C
5.7	授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

学校独自の判定基準に基づき、学生の成績判定を行い、それを書面により学生に伝えている。しかし、その判定基準及び判定方法が妥当かどうかは、十分に検証されていないので、今後は定期的に検証を行うよう努めていく。

また、今回の点検により「学生による教師への授業評価」については実施ができていないことに気付いたので、今後は実施に努める。

6. 教育活動を担う教職員		評 価
6.1	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A
6.2	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	A
6.3	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	A
6.4	教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組みをしている。	A
6.5	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	B
6.6	教員評価を適切に行っている。	B

<現状・具体的な取り組み／課題>

教職員募集の際には、募集要件と職務内容等を明確に記載するようにしている。

また採用時研修において、再度その点を確認し、各自に自己研鑽を積むように促すとともに、学校としても外部から講師を招いて研修を行うなど、知識や能力向上の場を提供している。

7. 教育成果		評 価
7.1	入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A
7.2	修了・卒業の判定を適切に行っている。	A
7.3	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A
7.4	卒業または修了後の進路を把握している。	A
7.5	卒業生及び修了生の状況を把握するための取組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	B

<現状・具体的な取り組み／課題>

出席、テスト、宿題提出などの学内の記録だけでなく、日本留学試験、日本語能力試験の結果についても適切に把握している。学生の進路に関しては、すべて把握しているが、今後は卒業生の SNS コミュニティを作ったり、同窓会を開催したりして、数年先の状況まで把握できるようにしていく予定。

8. 学生支援	評価
8.1 学生支援計画を策定し、支援態勢を整備している。	A
8.2 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。	A
8.3 日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	A
8.4 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施している。	A
8.5 住居支援を行っている。	A
8.6 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A
8.7 健康、衛生面について指導する態勢を整えている。	A
8.8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	A
8.9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A
8.10 交通事故等の相談態勢を整備している。	A
8.11 危機管理体制を整備している。	B
8.12 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施している。	B
8.13 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

事務局にはベトナム語、英語、中国語が堪能な職員を配置し、学生が日本語での相談が難しい場合は、媒介語を通して対応できるようにしている。また緊急な病気や事故などに対応するため、緊急電話や学校専用車についても整備している。

9. 進路に関する支援	評価
9.1 進路指導担当者を特定している。	A
9.2 学生の希望する進路を把握している。	A
9.3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A
9.4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

進学に関しては、クラス担任が個別に面談を実施した上で、常勤教師間で情報を共有し、教務全体で出願・面接等のサポートを行っている。

10. 入国・在留に関する指導及び支援	評 価
10.1 入管事務担当者特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A
10.2 担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている。	A
10.3 入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。	A
10.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	A
10.5 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	A
10.6 入国管理局、日本語教育振興協会及び関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A
10.7 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	A
10.8 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	B

<現状・具体的な取り組み／課題>

入国・在留関係及び生活指導については、母国語で3日間にわたってオリエンテーションを行い、徹底的に指導している。指紋認証システムを用いて、教室に入る前までの出席を徹底管理し、学校に来ていない学生に関しては授業が始まってすぐに連絡を取るようになっているので、悪くても95%の出席率を維持している。また、教室内に監視カメラを設置し、学習態度の悪い学生に関しては、事務局から指導を行うようになっている。

11. 教育環境	評 価
11.1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	A
11.2 授業時間外に自習できる部屋を確保している。	A
11.3 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A
11.4 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	A
11.5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A
11.6 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	A
11.7 法令上必要な設備等を備えている。	A
11.8 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A
11.9 バリアフリー対策を施している。	D

<現状・具体的な取り組み／課題>

学生数に応じた校舎規模と設備を整え、学生が快適に学習できる環境を整備している。

12. 入学者の募集と選考	評 価
12.1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A
12.2 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
12.3 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A

12.4	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	A
12.5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
12.6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	A
12.7	入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A
12.8	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A
12.9	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

学生選考に関しては、学業成績と日本語能力に応じて明確な基準を定めて、先に書類選考を行っている。書類選考を通過した学生に関しては面接を行って、日本の文化・習慣、学校のルールをしっかりと理解してもらった上で受け入れを行っている。特にベトナムに関しては現地のグループ校から推薦した学生を主に受け入れているが、職員が学習態度等を把握し、問題がない優秀な学生のみを受け入れている。

13. 財務	評 価
13.1 財務状況は、中長期的に安定している。	A
13.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A
13.3 適正な会計監査が実施されている。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

現在、学校運営資金に問題はなく、中長期的に経営基盤は安定している。

14. 法令遵守	評 価
11.1 法令遵守に関する担当者を特定している。	A
11.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。	A
11.3 個人情報保護のための対策をとっている。	A
11.4 入国管理局、関係官庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

法令遵守と個人情報保護に関しては徹底的に実施しており、これまで特に問題がおきたことはない。

また、福岡入国管理局への報告も遅滞なく、確実に行っている。

15. 地域貢献・社会貢献	評 価
11.1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	A
11.2 学生ボランティア活動への支援を行っている。	A
11.3 公開講座等を実施している。	D

<現状・具体的な取り組み／課題>

学校周辺でゴミ拾い運動をしたり、地域の在日中国人子弟に対する中国語授業のために教室を貸し出したりして、地域との関わりを強めるよう努力をしている。